

平成30年度 第30回新居関跡整備委員会議事録

- 1 日 時 平成30年9月27日（木） 午後2時～午後3時35分
- 2 場 所 湖西市民活動センター大会議室
- 3 出席者 整備委員 渡辺和敏委員 向坂鋼二委員 寺田敏幸委員
金原孝宜委員 箱崎和久委員
事務局 渡辺宜宏（教育長）鈴木 徹（教育次長）
岡本聡（スポーツ・文化課長）
高橋一敏（課長代理）鈴木紀子（文化係）
- 4 議 題 ①平成30年度事業進捗状況について（報告）
②女改之長屋の展示について
③今後の事業計画について（報告）
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 無

【開 会】

あいさつ

・教育長

委員長互選

・渡辺和敏委員長 選任 あいさつ

【議 題】

1 平成30年度事業進捗状況について（報告）

※事務局より平成30年度進捗状況について説明

・女改之長屋復元整備工事について

・整備委員会の開催

（委員）現在、塗装の範囲について調査中。

（委員長）渋墨は塗っているか。

（委員）柿渋から採る渋なので、真っ黒な墨ではないイメージ
木目が判るような黒っぽい色。

（委員長）面番所よりも目立たないように？

（事務局）面番所も塗っている。防腐効果のほか、関所の威圧効果もあるのでは？

面番所も日陰の一部で塗った後が見られる。

・文化庁調査官現地調査の所見について

・関所構内の課題箇所について

(委員長) 白ありが来るのが早い。補償期間は20年くらいではないか。

(事務局) 屋内建物については、補償期間は5年だが、屋外工作物については、雨にあたるため補償はつかない。白ありが発生したら薬剤散布をしている。

(委員) 事前に柵を見てきたが、だいぶ被害があり安全性に問題がある。早急に根本的に材質を変える(擬木)等の対策を検討を。

奈良の大乗院庭園では、白ありキャッチャー(市販: ザイエンス社)を地中に埋めている。蟻がえさを巣に持ち帰り、殺す薬剤。

地中に埋めるので、現状変更は必要かもしれないが試してもよいかも。

(委員長) 漆喰は、左官屋に聞いたら5年に1回やり直したほうがいいそうだ。

(委員長) 関所構内の高札は、今後の整備の中で移設してもよいのでは。

(委員) 枅形広場くらいか。

(事務局) 昔の絵図に関所構内に高札場があるので、立てたものであると考えられるが、場所は便宜上の場所。おそらく、もっと南側。

(委員) 大御門から来ると看板が見えない。

2 女改之長屋の展示について

(委員長) 「女改之長屋」という「之」は呼びにくいですが、名称はこれで決まりか?

(事務局) 女改人長屋など、記録では他の呼称もあるが、過去の整備委員会で、呼び方を決めた。「女改之長屋」で統一していく。

(委員長) 文量が多いように思う。詳細はパンフレット等紙で配ったらどうか。

(委員) このくらいの文量で適当だと思う。

(委員) 部屋の使い方については、1つが座学室(建築をみせる)。

1つを展示室でよいと思う。

マネキンは新たに作るものでなく、費用もかからないので、置いてみたらどうか。いろいろ試してみてもよい。

(委員) 座学をやるときは、押入れにしまう。

(委員) 土壁に穴を開けるのは、崩れやすいので望ましくない。
梁等も開けない方がよい。つっぱり棒のような展示パネルを壁際に設置するのがいいのではないか。
脚のあるパネルは歩行の邪魔。
適宜、展示解説は更新していけばよい。

(委員) 壁に3キロまで貼ってはがせるような接着剤があるのでは。
マネキンがあってもよい。
先日、水戸黄門で新居関所がやっていたが、著作権の問題はあるがモニターで再生して、ここが女改めの場面、だと紹介できたら面白い。

(委員) 展示を撤去して、元の部屋に戻せる状態であれば、ロケなどもできるので、撤去できる展示物を。

(委員長) 体験講座は、補助対象外となるので、またおいおい検討すればよいが、草履づくり、琉球づくり、製本(和とじ)などはどうか。

(委員) 歴史体験にこだわらず、いろいろな体験講座をやって、使い道を広げて、市民がこんなことに使えるのか、と思ってほしい。

(委員) 関所の日はないのか? 関所が設置された日を関所の日にするとか。

(事務局) 史料館の開館日が、開館記念日 11月3日。無料開放している。

(委員長) 関所の設置は、慶長1600年としているが、季節はわかるが月日は不明。

(委員) 関所を使って祭りのようなイベントはあるか?

(委員) 泉町発展会で「旅籠まつり」があるが、歴史イベントではなく、物販やコスプレ撮影会などを行って、構内を開放している。
今年は、子ども時代劇はやらない。

(委員長) 新居は神社の祭りが多い地域なので、大名行列などの祭りが合っているのかもしれない。

(委員) 時代衣装で大御門を開門して、関所を通る時代を再現できるよ

うなイベントがあればおもしろい。

(委員) 解説文は屋外にはやらないのか。

(事務局) 32年度にサイン看板を整備する予定。

(委員) 建物の名称だけでなく、建物の簡単な説明を入れた看板にしてほしい。

(事務局) 女改之長屋で改めを行っていたか？

(委員長) 浮世絵のイメージで、そう思い込んでいた。

実際には、不審でよくよく改める件数は少ないと思う。

基本は文書主義で、手形があればいいのでは。

不審者の改めは、長屋に連れていったのではないか。

(委員) 船会所の板壁もあるので動線的にどうか。

記録には、改めの順番待ちで縁側で待つとある。

(事務局) また史料があったら教えていただきたい。

(委員) 解説文についてはどうするか。

(事務局) 改めて推敲して、郵送等で文面を送付し確認していただく。

3 今後の事業計画について（報告）

(委員) 浮き棧橋の撤去は危険なのでしたほうがよい。コンクリート基礎は葦などの植栽でカバーする。

(委員長) 船会所の整備は、新居関所の特徴的な建物なので、ぜひ整備してほしい。

(事務局) 土蔵、船会所を含め整備するために、活用計画を立てたい。

(県) 保存活用計画策定後、基本計画を改定する必要があるかもしれない。その中に、再整備として課題箇所を記載しておけば、補助対象とすることができる。

(会議終了後、新居関所の現地確認。16：30解散)